

ほけんだより



梅雨の時期が近づいてきました。暦の上では「立春」から135日目の6月11日頃が「入梅(にゅうばい)」です。梅の実が熟す頃で、梅雨の始まりとされています。梅雨は、春から夏に移行する過程で、その前後の時期と比べて雨が多くなり、日照が少なくなる季節現象です。関東地方の平年の梅雨入りは、6月7日頃ですので、この頃から1ヶ月位雨の時期を迎えます。そして、6月の和名は「水無月(みなづき)」。ここに使われる「無」は、「無い」という意味ではなく「の」を意味します。「水無月」とは、「田んぼに水を引く月」を由来とし、「水の月」という意味があります。梅雨の時期にぴったりですね。外遊びも出来ず、ジメジメ、ムシムシ、洗濯物もすっきり乾かず…と憂鬱な時期ですが、子ども達はお気に入りの傘や合羽、長靴を身につけて、とても嬉しそうです。たまには、大人も子どもと共に雨の季節の変化を楽しめると良いですね。



感染症情報



特に流行した病気はありません

※新型コロナウイルス感染症の第6波の流行以降、家庭の中で園児(特に幼児)が最初に陽性となり、その後他の家族に広がるケースが増えてきました。大人だけでなく子ども(乳児を含め)に発熱・風邪症状が見られた場合にも、必ず医療機関を受診していただきますようお願い致します。また、送迎される方だけでなく、家庭内で体調不良の方がいらっしゃる場合には、登園前に必ずご相談下さい。なお、新型コロナウイルス感染症の園内での発生状況につきましては、園内で濃厚接触者が発生する場合にのみ、該当者及び該当クラスに連絡を入れており、そういった園の運営に影響が生じない場合には、個人情報保護の観点から一切の情報を開示しておりませんので、ご理解いただきますようお願い致します。

※2歳児以上のマスク着用についてですが、原則一律の着用は求めず、保護者の判断にお任せしております。但し、いずれの年齢におきましても、外遊び・午睡時はマスクを外させていただきます。外したマスクは、カバンの中にしまえますので、保管用の袋(ジップロック等)と替えのマスクのご用意をお願い致します。また、替えのマスクや不織布マスクにも必ず名前を記載して下さい。なお、2歳児以上のお子さんで咳の症状が目立つ場合には、マスク着用での登園をお願い致します。保育中、園の判断でマスクを着用させる事がありますので、ご了承下さい。

